

七生緑小・避難所開設マニュアル（第3版）

1. 七生緑小学校に避難

▶ 自治会単位で一時集合場所から避難する

- ① 近隣住民は、各一時集合場所に集合し、近隣住民の安否確認後、自治会単位で七生緑小に避難する。
 - ・避難対象の目安は、自宅が危険な状態、あるいは住めなくなった状態の人である。
 - ・自家用車による避難は、禁止とする。（ただし要支援者は除く。要支援者用駐車場は資料2を参照）
 - ・ペットを連れての避難は、可能とする。（ただし飼育場所を定める。当初の飼育場所は資料2を参照）
 - ・七生緑小学校を避難所と想定している自治会の一覧と避難経路を資料1に示す。
- ② 近隣住民でない帰宅困難者は、七生緑小に直接避難してくる。

2. 体育館の開放

▶ はじめに市職員が体育館を開放する

- ① 避難所の開放は、1次開放（体育館）、2次開放（校舎内）の2段階で行われる。
 - ・1次開放は、市職員が（七生緑小教職員、勤務時間外は近隣居住の緊急地区担当員が駆けつけて）、体育館および防災備蓄倉庫の開錠、ならびに設備の危険度判定を行い、その後避難者に開放する。
 - ・2次開放は、原則、避難者らによる避難所運営委員会が設置された後となる。
- ② 市職員が誰も来校する見込みがなく、かつ施設内への避難が急いで必要な場合に限り、窓などを利用して体育館に入ることも可とする。ただし、資料5を用いて体育館の安全確認チェックを必ず行うこと。

3. 初動ボックスを開ける

▶ 入場後まず初動ボックス、その後館内へ

- ① 体育館に入場後、下駄箱手前にある「避難所・初動ボックス」を開け、資料4の流れで初動を行う。
- ② 体育館の安全確認後、資料3の暫定割り振りマップに従って、館内に避難する。

4. リーダーを決める

▶ 避難所運営の主体は市職員ではなく避難者

- ① 各団体から1名ずつ代表を出す。その際、自分の団体の現避難者数を把握しておく。
- ② 代表は体育館の中央付近に集合し、避難者をグループ分けしてリーダーを選出する。
 - ・1グループ30人程度を目安とし、各グループから2人ずつリーダーを選出する。
 - ・リーダーは分かり易い目印を着用する。
- ③ リーダーが開設作業の中心となり、避難者と市職員が協力し合って避難所の開設を進める。
 - ・期間は避難所運営が始まるまでとし、必要に応じてサブリーダーを設ける。
 - ・初動では、特にトイレと物資の扱いに重点を置く。

5. 避難所スペースの割り振り

▶ リーダーに従い、利用場所を守る

- ① リーダーは、各団体の人数を考慮し、必要に応じて避難所スペースの再割り振りを行う。
※再割り振りをした場合は、暫定割り振りマップを更新して、本部の壁に貼り直す。

※この開設時の割り振りは、避難所運営が始まった段階で見直されることがある点を周知する。

- ② 1次開放では、体育館と校舎内の一部トイレのみ使用する。(使用可能な施設は資料2を参照)
 - ・校内の使用禁止場所は入口に表示されており、使用禁止場所へは絶対に立ち入らないこと。
- ③ 他の校舎内施設は2次開放で、原則、避難所運営委員会が設置された後利用可能となる。
 - ・詳細は、避難所運営マニュアルを参照。

6. トイレの確保

▶ 協力していち早く準備する

- ① 1次開放のトイレ(だれでもトイレ含む3箇所)の使用可否を確認する。(手順は資料6を参照)
 - ※プールトイレは初動では原則使用しない(やむをえない場合は、安全に十分注意する)。
- ② 給水や下水に問題がある場合、簡易トイレやマンホールトイレ設置を検討する。(資料7を参照)
 - ・プールの水をバケツで汲んでトイレ用に利用できるが、水際の事故に十分注意する。
- ③ トイレトペーパーは、防災備蓄倉庫から出して使う。
- ④ トイレの場所と使い方を避難者に周知し、きれいに使用する。(清掃用具は図工室前の女子トイレ内)

7. ゴミの扱い

▶ ゴミ出しルールを周知する

- ① 初動では、共同のゴミ箱は設置しない。
- ② ゴミ袋は、避難者が持参してきたポリ袋を使い、不足分を防災備蓄倉庫から出す。
- ③ ゴミ集積所の場所と出し方、分別方法を避難者に周知する。(場所は資料2を参照)

8. 備蓄品の取り扱い

▶ リーダーに従い緊急性がある人に配布

- ① 防災備蓄倉庫内の備蓄品の配布は、リーダーに従う。(備蓄品の一覧は資料8を参照)
 - ・物資のみ受け取りに来た人達にも、リーダーに従ってもらう。
- ② 初動時の配布基準は『緊急性のある人』のみとする。

9. 外部への連絡

▶ 優先電話が設置される

- ① 市職員が、災害用の特設公衆電話(5回線分)を体育館に設置する。避難者が利用できる。
- ② 市職員が誰もいない場合、避難者が防災備蓄倉庫から取り出して設置する(設置場所は初動ボックス付近。資料2を参照)

10. 災害対策本部

▶ 何かあれば支援を求められる

- ① 支援が必要な場合、日野市の災害対策本部に連絡できる。
 - ・災害対策本部 TEL 042-585-1111 ・ FAX 042-587-5666
- ② 電話が使えない場合、市職員に依頼して学校の無線機を利用する。

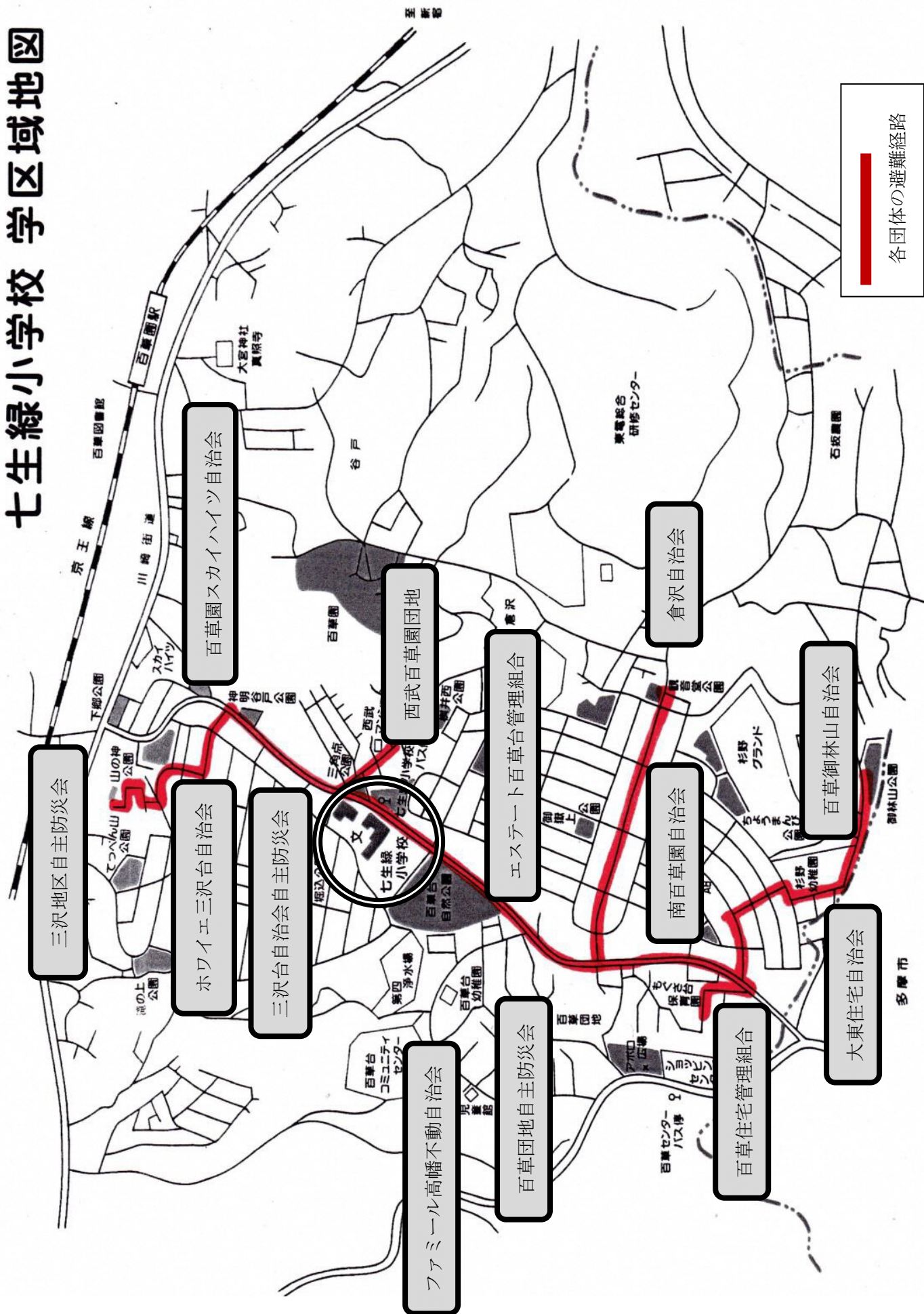
これで避難所の開設を終了する。

以降は、「避難所運営マニュアル」に従って避難所の運営を行う。

<七生緑地域自主防災会・近隣団体一覧>

資料1

七生緑小学校 学区区域地図





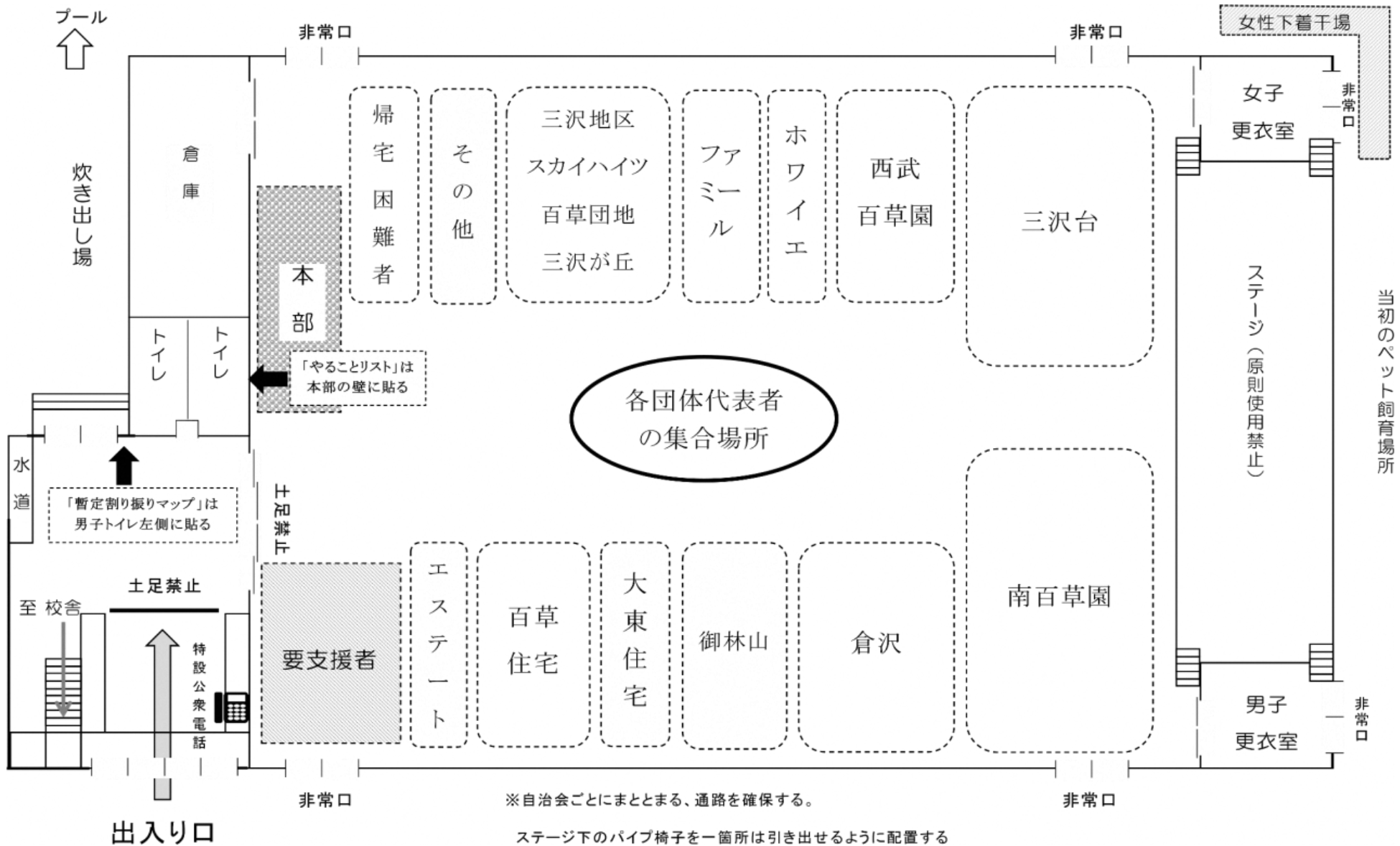
×マークのついている設備は使えません。

これより先は、
1次開放の対象外

体育館 暫定 割り振りマップ

資料3

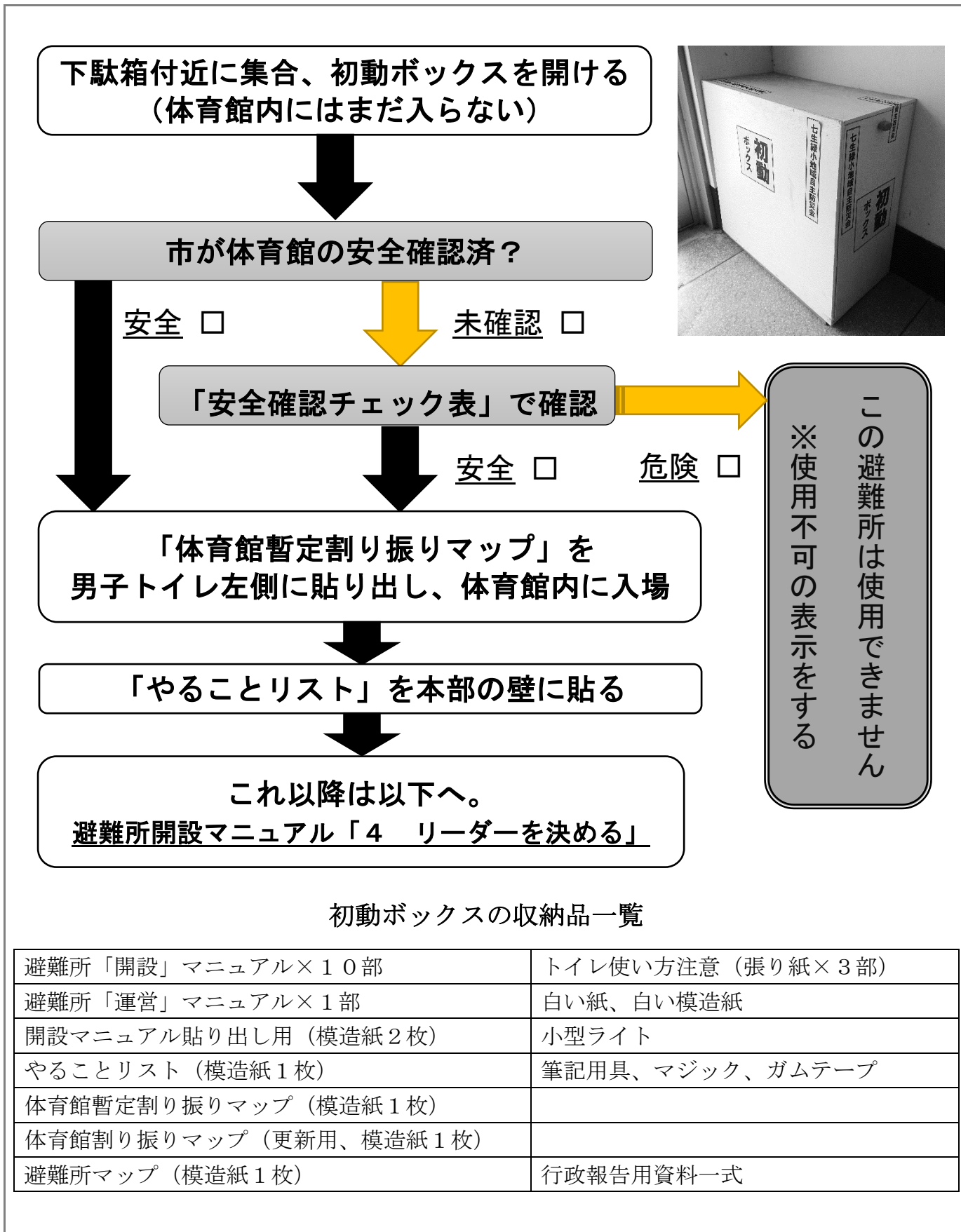
※所属する団体ごとに集まって下さい。体育館内は土足厳禁です。



< 避難所・初動ボックスを使った初動 >

資料 4

★避難者は、体育館内にすぐ入らず、まず初動ボックスを開けます。



< 体育館の安全確認チェック表 >

資料5

★ 避難者自身で安全確認を行う必要がある場合に使用します。

★ 確認者の安全を第一とし、建物が明らかに危険な場合は実施しないでください。

1 周囲や外観の確認

体育館周辺の地面に大きな亀裂があったり、周囲の建物が倒れてきそうな場所はないか。	ある	ない
体育館が傾いたり、沈んだりしていないか。	ある	ない
壁の全面に大きなひび割れが入っていないか。	ある	ない
体育館の一部が崩れたり、つぶれたりしていないか。	ある	ない
鉄骨の骨組みが壊れたり、変形したりしていないか。	ある	ない

※「ある」に1つでも○がある場合は、避難所として活用できません。
速やかに建物から離れ、近づかないように周知してください。
※各地区で相談し、他の避難所へ移動します。

全て「ない」なら
内部の確認へ

2 体育館内の確認

上部の確認（以下の落下がないか。余震により落下しそうな破損はないか。）		
① 天井（細かな破片などが落ちている場合も含む）	ある	ない
② 照明装置	ある	ない
③ 吊り下げ式バスケットゴール	ある	ない
④ 窓ガラスや窓枠	ある	ない
床面の確認		
① 床面の陥没はないか	ある	ない
② 窓ガラスの飛散はないか	ある	ない
側面の確認		
① 壁に大きな剥離はないか	ある	ない
② 窓に大きな破損、ひび割れはないか	ある	ない
③ 館内の用具等が転倒していないか、転倒する危険がないか	ある	ない
非常口の扉の確認（最後に数人で体育館の内側から行う）		
① 扉の開閉できない非常口が多数あるか。	ある	ない

※各設問の①部分で「ある」に1つでも○がある場合は、避難所として活用できません。

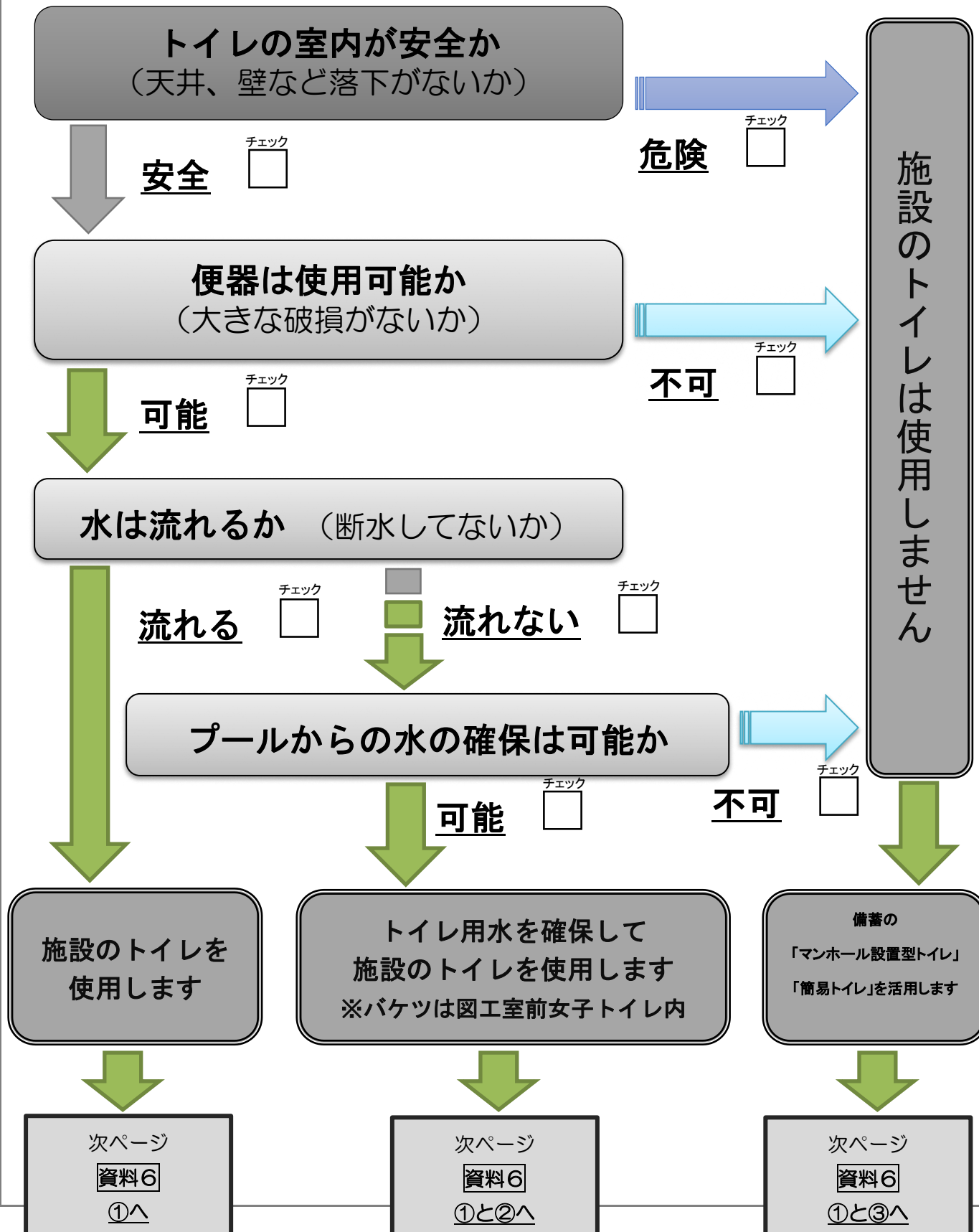
※各設問の②～④部分で「ある」に○をした場合は、落下物を排除して活用できるか、落下や転倒の危険のある部分を避けて活用できるか十分に検討が必要です。

全て「ない」なら
活用可

< 避難所トイレの確保 >

※施設のトイレ（体育館、図工室前、だれでもトイレ）が使用可能か確認します。

○ トイレ確認のチェック項目 （当てはまる方にチェックし矢印の方向へ）



① トイレを使用する場合（共通事項）

- 使用可能なトイレの場所、各自きれいに使うことを避難者に周知します。
- 停電時、懐中電灯などを準備します。
- 手洗い用の水がない場合、最初は、施設の消毒液を借ります。

② 水を確保して使用する場合

- プール貯水を小型バケツ（防災備蓄倉庫）にため、トイレの流し用水として設置します。（事故防止のため、子供、高齢者、要支援者に配慮が必要です。）
- 詰まらない様、使用済みトイレットペーパーを捨てるゴミ箱（袋）を用意します。（匂い防止のためのふたがあると便利です。）

③ 組み立てトイレを使用する場合

マンホール設置型トイレ × 1

設置の際、マンホールへの落下に注意すること

- 下水マンホールの場所を確認します。（マンホールの場所は資料2を参照）
- 3～4名の人数を集め、防災備蓄倉庫から「マンホールトイレセット」と「テント」を取り出し、付属の説明書に沿って組み立てます。
- トイレットペーパーを設置します。

簡易トイレ×10

- ゴミ箱（袋）を用意し、衛生面に注意して利用します。

< 防災備蓄倉庫一覧 >

資料 8

	食 糧								資 器 材											
	アルファ米	アルファ米 (田舎・わかめ)		保存水 (500ml)	保存水 (2L)	お粥	お粥	ビスケット	ミルク	トイレセット	マンホール	応急給水セット	かまどセット	更衣室	ランタン	コップ	箸	ポリ袋	ガムテープ	軍手
	1,000	4,500		960	180	100	100	1080		1	1	2	1	8			200	10	120	50
単位	食	食		本	本	食	食	食	食	セット	セット	セット	張	個	個	膳	枚	巻	双	枚
倉庫	A	B		B	A	A	B	B		B	B	B	B	B			A	A	A	A

※アルファ米は1袋50食単位

	資 器 材																
	ナプキン	タオル	石鹸	ペーパー トイレット	おむつ		防水シート	毛布	毛布	カーペット	ロープ	ボール	ツルハシ	スコップ	かけや	大ハンマー	パイル(杭)
	5	100	56	100	12	13	20	100	90	50	5	2	3	10	1	1	25
単位	袋	枚	個	巻	袋	袋	枚	枚	枚	枚	巻	本	丁	丁	本	本	本
倉庫	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A

	資 器 材																	
	土嚢袋	ひしゃく	トイレ資材				ラジオ	懐中電灯	救急箱	ろ水器	ほ乳瓶	下着上下男	下着上下女	紙コップ	トリアージタック	ろうそく	ヘルプカード	特設公衆電話機
	200	3	20	16	200		2	3	2					360			50	5
単位	枚	個	個	本	枚		台	個	箱	台	本	組	組	個	枚	本	枚	台
倉庫	A	A	A	A	A		A	A	A					A			B	A

※倉庫は旧倉庫をA、新倉庫をBとしています

棚卸し実施日 平成 28年 7月 23日

(備考)